



# 目次

## 序

第一章	社会的費用と経済学	一
第二章	社会的費用の本質とその重要性	一五
第三章	社会的費用に関する従来の議論	二九
第四章	生産の人的要因を損傷することから生ずる社会的費用	三三
第五章	空気の汚染の社会的費用	六六
第六章	水の汚染の社会的費用	九二
第七章	動物資源の減少と絶滅	一〇九
第八章	エネルギー資源の早期涸渇	一三三
第九章	土壌の浸蝕、地力の消耗および森林の濫伐	一四四
第一〇章	技術的变化の社会的費用	一六九

第一章	失業と資源の遊休による社会的費用	一七
第二章	独占と社会的損失	一九
第三章	配給の社会的費用	三〇
第四章	輸送における社会的費用	三六
第五章	科学のつまずき	四〇
第六章	要約と意義	四六
第七章	新政治経済学への途	六一
付 録		
1	労働傷害発生率と平均苛酷度、製造業および非製造業部門別、一九四七年	三〇四
2	合衆国の鉱業における産業上の傷害総数と傷害発生率、一九三一—四八年	三〇五
3	能力喪失程度によって分類した労働傷害の推定件数合衆国、一九三六—四七年	三〇六
4	労働傷害による失費の推定額（二〇〇万ドル）、一九四一—四八年	三〇七
5	ピッツバーグおよび煤煙のない大気中における各種金属板の相対的耐久度	三〇八
6	各地における一平方マイル当り塵埃堆積量	三〇八
7	ピッツバークにおける空気汚染による年失費の一部推定、一九一三年	三〇九

8	汚染除去の相対的重要度、河川流域別区分	三〇
9	合衆国における経済上採掘可能な鉱物資源のおおよその涸渇の程度、一九四四年	三一
10	合衆国における伐材の性格、一九四五年営利的林地における所有階層別の伐材の性格、一九四八年	三二
11	洪水による年々の推定損失額、一九〇三―四六年	三三
12	小売店数と規模別売上高、一九三九、三五、二九年	三四
13	合衆国における広告費、一九二九―四八年	三五
14	純売上高一ドル当り広告費、純売上高一ドル当りの配給費、若干の商品の全配給費中に占める広告費の百分率、一九三九年	三六
	訳者あとがき(篠原泰三)	三七
	人名・機関名・書名索引	
	事項索引	